

湖西地域の県立高校の魅力化について(たたき台)

➤ 課題認識

- 今後、湖西地域の中学校卒業予定者の減少が予想されるとともに、地域内中学校卒業者の3割以上が地域外の高校へ進学する傾向が顕在化し、湖西地域の高校の定員未充足が深刻な状況(特に安曇川高校)となり、学校活力の低下が懸念される。
 - ※ 特に成績上位層の地域外への流出が顕著となっている。
- このため、喫緊の課題として湖西地域の2つの高校のさらなる魅力化を図り、中学生が選択する学校づくりを進める必要がある。

➤ 魅力化の方向性 ～学校づくりのコンセプト～

- 遠隔地の高校を選択しなくても、進路実現ができる学校づくり
 - 湖西地域に県立高校は2校しかなく、かねてから両校とも多様な生徒が入学
 - 地域内の生徒の多様なニーズに対応した学びを提供し、進学、就職等が実現できる学校づくりで魅力化を図る。
 - 全県一区制度の下での魅力化であり、他地域からの入学者も視野に入れるが、交通便利性等を考慮し、地域内生徒の学びの保障に重点を置く。
 - 特に、成績上位層の地域外への流出に対応した教育内容の充実を図る。
- 将来、地域で活躍できる人を育てる学校づくり
 - 今後、地元高島市では人口減少が予想され、強い危機感を持って、定住促進など地域活性化に向けた取組が進められている。
 - 地域と連携・協働した取組等により、将来、地域で活躍できる基盤となる知識や技能を習得できる教育を進める。
……医師・看護師・保育士・行政職員・教員・警察・消防・地場産業・観光産業など
- 手厚い指導を実践する学校づくり
 - 少人数学習等による手厚い指導で、生徒の可能性を最大限伸ばす教科指導や、部活動が盛んな地域性を生かし、心身とも成長できる教育を実践。
 - 手厚い指導が定評となる学校づくり、教員集団づくり

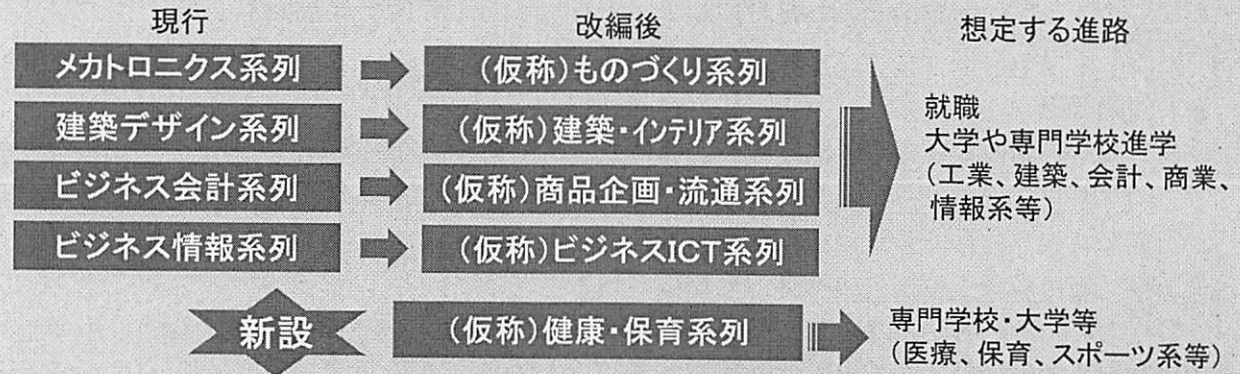
➤ 具体的な魅力化策(別紙参照)

○ 魅力化のポイント

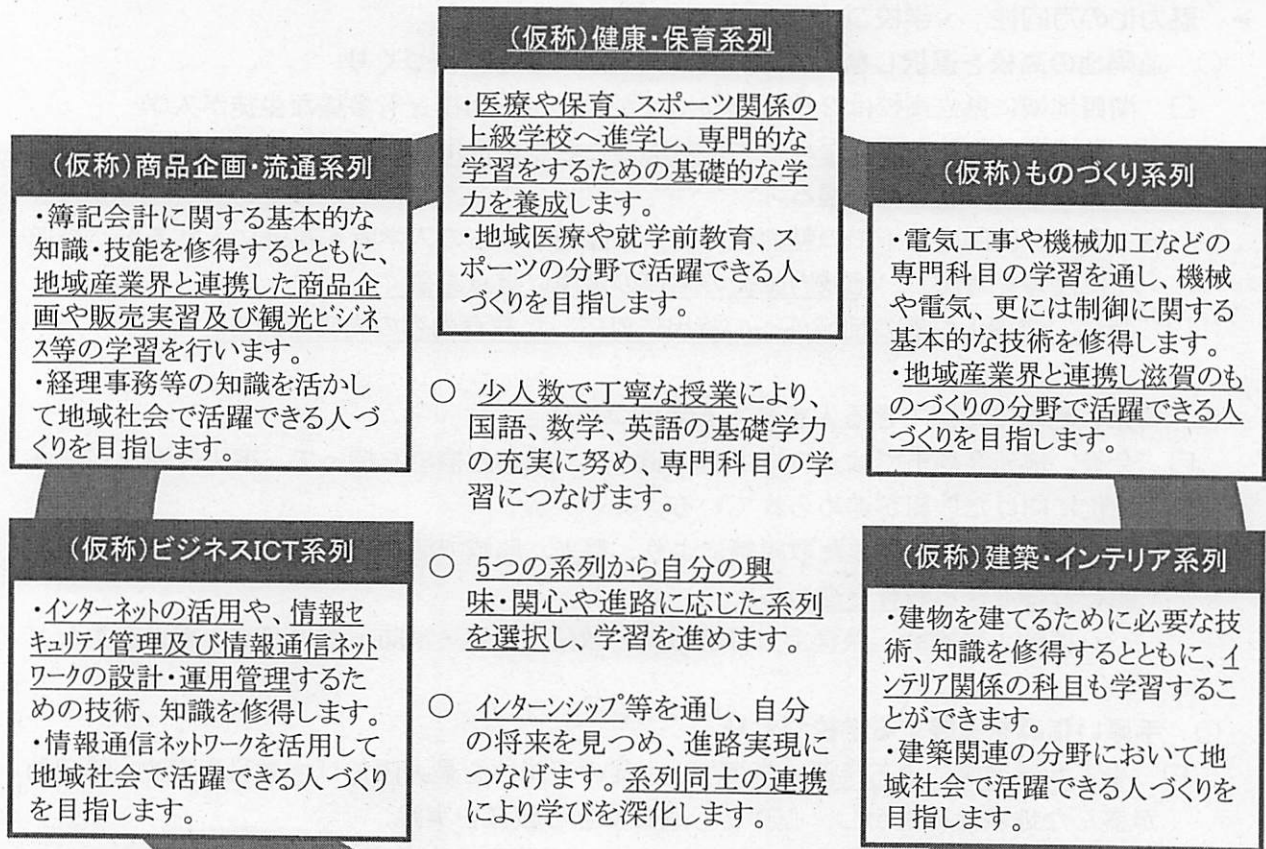
- 安曇川高校 新たな系列の設置等による地域内中学生の多様なニーズへの対応
- 高島高校 進学指導に重点を置く学科の設置による成績上位層の呼び戻し
- 両校共通 地域連携や部活動の活性化等による学校の魅力化の推進

安曇川高校の魅力化の方向性について(案)

総合学科の系列について



※既存の系列は学習内容や卒業後の進路に沿った系列名に変更



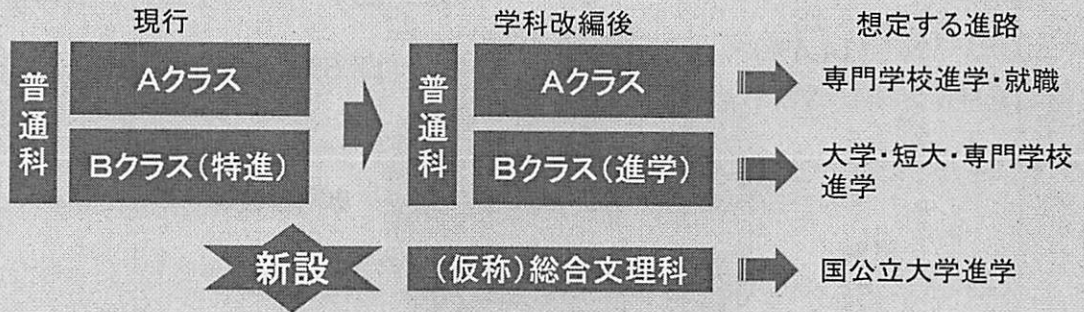
地域社会で活躍できる5つの系列



○ 豊かな人間性を備え、専門的な学びを通して地域社会で活躍することができる資質や能力の育成

高島高校の魅力化の方向性について(案)

クラス構成について



○(仮称)総合文理科の設置

創造的な能力や探究的な態度を養いながら、5教科を中心とする学力を磨いていく学科

- ・進学に特化したカリキュラムで、国公立大学進学を目指します。
- ・探究的な活動を行っている他校との交流や探究的な活動を行う科目等をとおして、大学進学後の先を見据えた、創造的な能力や探究的な態度を育みます。

(仮称)総合文理科

- ・同じ目標を持った生徒同士が競い合い、刺激を受けてお互い高め合います。
- ・文理に分かれた授業は少人数で、先生との距離も近く、質問などがしやすい雰囲気学びます。
- ・1年次から取り組む探究的な活動では、県外も含めた他校とも交流し、切磋琢磨しながら探究的な態度を育みます。

普通科

- ・自分の進路を見据え、目標に合ったクラスを選び学習を進めます。Bクラスは2年次から各自の進路希望に応じて科目選択し、興味を持った学習を進めることができます。Aクラスは、公務員試験等に関する学習もすることができます。
- ・2年次から3年1学期にかけて、自分の興味・関心や進路を踏まえた「卒業レポート」に取り組む探究的な態度を育みます。

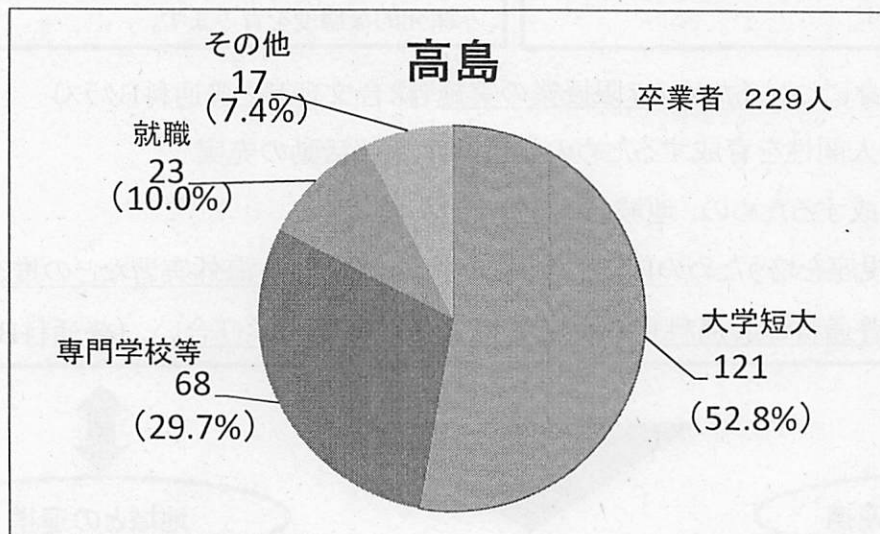
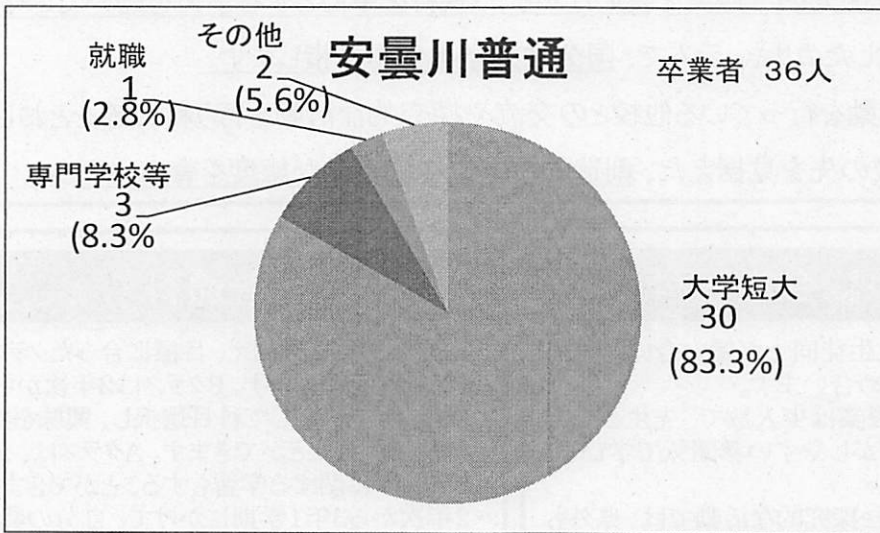
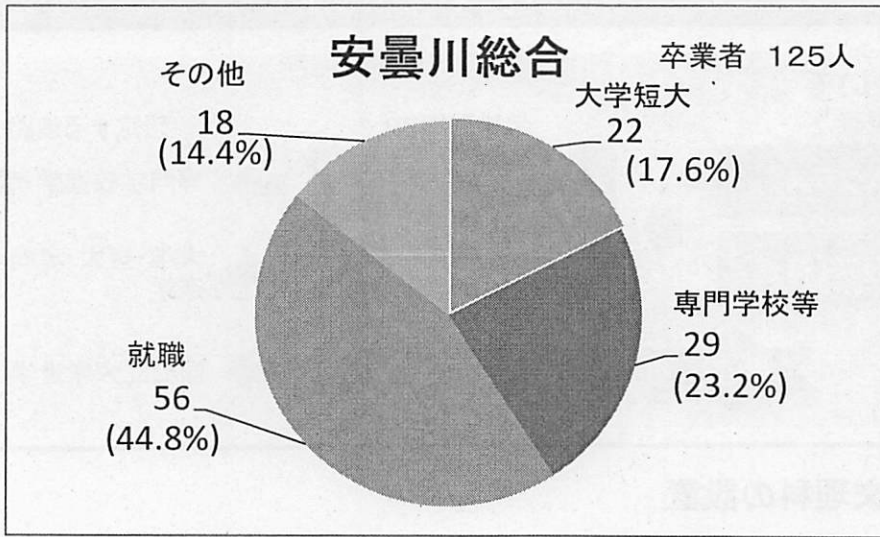
- ・確かな学力を身につけるための7限授業の実施(総合文理科と普通科Bクラス)
- ・豊かな感性や人間性を育成するための学校行事や部活動の充実
- ・地域人材を育成するための、地域との協働学習の推進
- ・グローバルな視座を培うためのICTを活用した海外との交流・海外実習などの推進
- ・総合文理科と普通科の共通科目の設定による、生徒同士の学び合い。(普通科Bクラス)

教育機関との連携

地域との連携

- 豊かな人間性を備え、グローバルな時代に主体的かつ柔軟に対応し、幅広い分野で活躍できる資質や能力の育成

【安曇川高校、高島高校 卒業生進路状況(平成31年3月卒)】



【過去3年間の安曇川高校、高島高校 進学分野(専門学校・大学短大)】

